

問 現在の喜多児童館の利用者数は。

答 令和3年度の子供の利用者は2,006人で、その内訳は幼児が756人、小学生が1,193人、中学生が57人となっている。さらに、保護者の利用者667人を加えると、合計2,673人が利用されている。



◆請願第3号 学校給食の無償化を求める請願

趣旨 子供の貧困増大や食材などの物価高騰を背景に、自治体による学校給食費への補助制度が広がる一方、給食費を引き上げざるをえない自治体も増えていることから、教育の一環である学校給食を国の責任において無償化するため、政府及び関係機関に意見書を提出することを求めるもの。

意見1 一部賛同できる部分もあるが、本市において経済的な支援策としての就学援助制度が利用できることや、無償化を実施するには多額の経費を必要とすることなどを考慮すると不採択が妥当である。

意見2 学校給食費については一律に無償ということではなく、必要な対価として負担ができるところは負担してもらうということが「食育」という視点においても必要なことだと感じている。無償化を求める意見としては不採択とすべき。

意見3 全国的には学校給食費の無償化が進められ、誰しも安心して給食が食べられる環境づくりは喫緊の課題である。また、本市で実施している就学援助制度を知らない方もいるため、一層の周知を図るべきであり、経済的に困窮している方々への支援を引き続き行うべきであるため、請願に賛成する。

審査結果 不採択

産業建設委員会 委員長 弓達 秀樹

《令和4年度大洲市一般会計補正予算》

◆若宮東大洲線外1線道路改良事業

説明 街路若宮東大洲線及び国道56号交差点部の改良工事費が当初予算で計上されていたが、国道管理

者及び交通管理者との協議において、舗装種類の変更、車線分離標の設置など工事内容に変更が生じたことに加え、アスファルト舗装材等の単価高騰により、工事請負費を追加計上するもの。

問 この事業は、令和3年度中に完成する計画だったと思うが、なぜここまで事業期間が伸びてしまったのか。

答 用地取得において、1地権者の物件移転に時間を要したため、工事に遅れが生じ、事業期間を1年間延長した。

問 工事の開始が来年1月頃になると思うが、今年度中に工事が完了できる見込みなのか。

答 現在の整備状況としては、国道56号交差点部分の歩道内に、公共下水道の汚水管渠の布設を行っており、今後、上水道管の布設、電柱等の移設の後、歩道の整備及び舗装工事を行うこととしており、今年度中の完成を目指して鋭意工事を進めている。工事が終わり次第、速やかに開通したい。

◆共同利用施設整備事業費補助金

説明 愛媛たいき農協において進められている老朽化した農業関連施設の整備・集約化を図るため、低温保管で品質管理できる共同利用施設「低温倉庫」等をライスセンターの隣接地に移転・新築する工事費の一部を補助するもので、移転時期の関係上、令和4年度から令和5年度の2か年を期間として、債務負担行為の限度額を9,050万円と定めるもの。

問 この倉庫に保管する米は市内で生産されていると思うが、流通されている米の何割なのか。

答 市内で生産される米の流通経路については、調査は行っていないため詳しいデータはないが、市内で生産されている米の多くは、自家消費であったり、親戚や知り合いなどに引き渡す方が多い。

一方、一般への流通の中では、そのほとんどが隣接するライスセンターや今回の農業用倉庫を利用され、愛媛たいき農協を通じた流通になると考えている。そういった意味からも、農業用倉庫移転に伴う補助金については、市内で生産される米の流通拠点であり、大洲市の農業振興を図るためにも必要と考え補助するものである。